

「共にささえあい 生きる社会」啓発動画を制作しました ～障害の有無にかかわらず全ての人が支えあう共生社会の実現に向けて～

相模原市は、市内近郊で活動する大学生と連携し、障害への理解を促進するための啓発動画を制作しましたので、お知らせいたします。

啓発動画の制作にあたっては、市内近郊で活動する「さがまち学生Club（監修：さがまちコンソーシアム）」に所属する大学生に制作を依頼し、学生同士のディスカッションや障害のある人への取材等を通して、「共にささえあい 生きる社会」実現のためには何が必要かを考えながら、制作に取り組んでもらいました。

この動画は10月20日・21日に開催される「潤水都市さがみはらフェスタ」内、パラスポーツ体験エリアのブースでお披露目します。

また、10月22日以降、市公式ホームページのほか、市公共施設や広告媒体等において順次放映する予定です。



障害への理解促進のキャッチフレーズ
「共にささえあい 生きる社会」

動画の概要

15秒版 「つながり」

制作者コメント：この動画は、みんなで優しさを持ってお互い支えあえる世の中になればいいなと思い制作しました。



30秒版 「手を取り合って歩こう」

制作者コメント：眼鏡をかけた女の子が、あるやり取りを見て心が温くなる動画です。気づいたら行動に移す、その勇気が優しい社会を作ると考えました。



60秒版 「こころの見える目を」

制作者コメント：障害のある人を表面上だけでわからないと決めつけるのではなく、相手のこころを見ようとするれば、お互いに分かり合えるということを表現しました。



動画は次のページでご覧いただけます。（10月22日以降）

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/fukushi/1012901.html>

